

# グループワーク 1 の進め方

---

お互いを知る チームを作る  
まちの課題認識を共有する

- ▶ アイスブレイク
- ▶ みなさんのまちの課題認識について対話する
- ▶ チームを作る(役割分担)
- ▶ 深掘りしたい課題を選定

# 地域の方々が共感できる希望の物語

---

## 例えば

1. 人口減少・高齢化社会、10年後にどんな地域にしたいのか？
2. 地域に住み続けるために必要なことは？
3. クルマを使わない豊かな暮らしとは？
4. 公共交通は道具、何のためにどんな道具が必要か？
5. 鉄道は大量輸送、速達性が特徴。需要がなければ始まらない。どうする？

公共交通を使う豊かな暮らしとは？ ・ ・ 何が必要？

TOTO 新聞広告(2010)

キャデラックの競合相手は？



家電、自動車。  
つぎは、  
水まわり。

2017年環境ビジョンTOTO GREEN CHALLENGE

<http://www.toto.co.jp/greenchallenge/index.htm>

# アイスブレイク

---

まずは、軽く自己紹介

最近の うれしかったこと

楽しかったこと を伝えましょう。

仕事上よりも、

個人のことのほうがいいのです。

一人

1分以内

「うれしい 楽しい」  
チーム作りのために

# 対話のルール

---

チーム(組織)は一人で出来ない事をするためにある

## <話し合いのルール>

- ▶ 議論は避ける ・・・否定しない
- ▶ 傾聴 ・・・相手の身になって「聴く」
- ▶ 伝わらないのは伝える側に問題がある
- ▶ キャッチボールする ・・・「なぜ」を問いかける
- ▶ 一般論・評論家ではなく ・・・一人称、一緒に困る

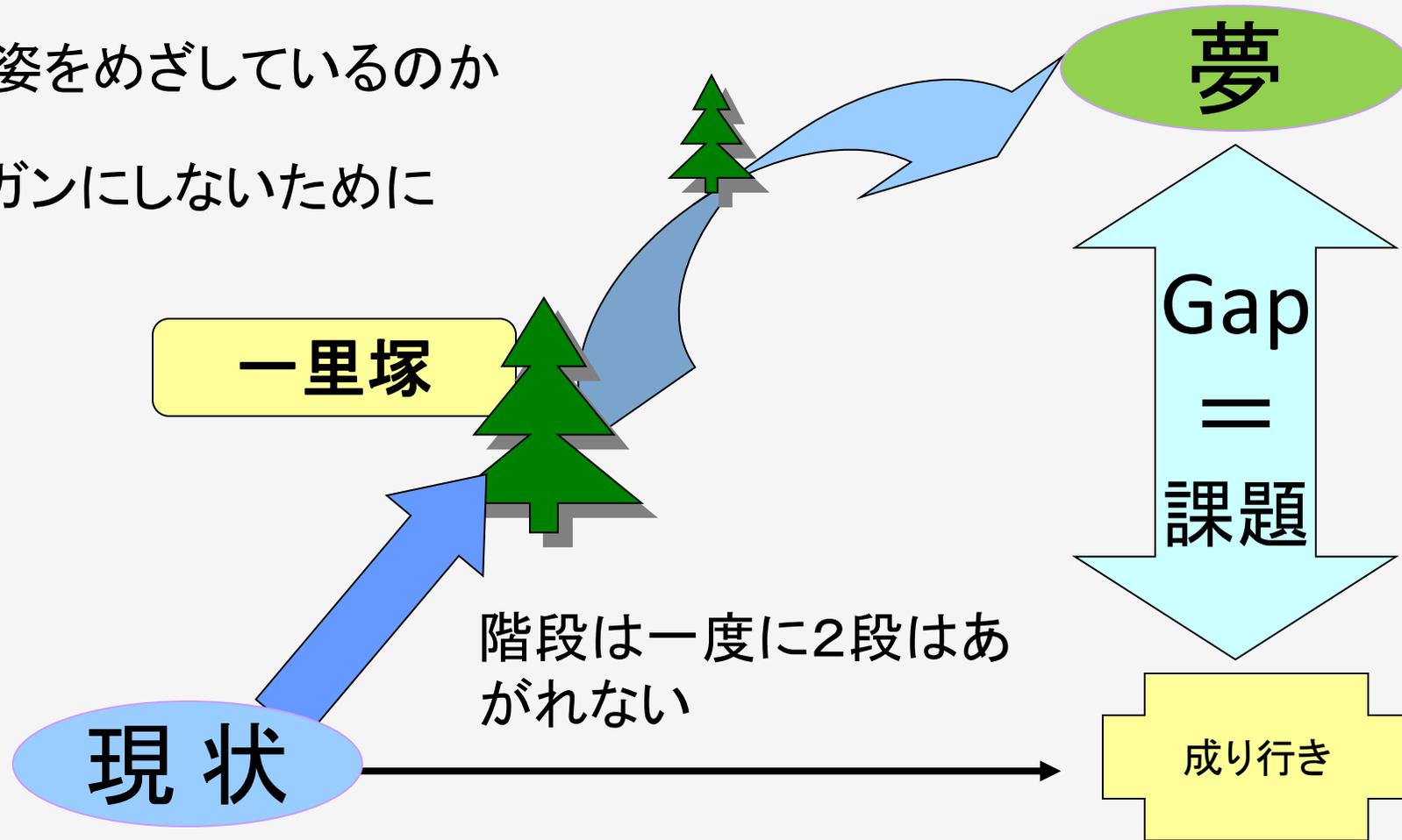
気づかないから変わらない・動かない

気づきを邪魔するもの

- ①存在の軽視 ・・・何も問題ない
- ②意味の軽視 ・・・別に大した問題じゃない
- ③可能性の軽視 ・・・不可能だ、無理だ

# ありたい姿をまず描く

どんな姿をめざしているのか  
スローガンにしないために



# 役割分担

<p><b>進行役</b></p> <p>まとめ役 ×</p>	<p><b>書記</b></p> <p>結論を書く ×</p>
<p>みなのお意見を タクサン 引出す</p>	<p>みなのお意見を 無くさないために</p>
<p><b>質問係</b></p> <p>監視役 ×</p>	<p><b>発表係</b></p> <p>発表だけ ×</p>
<p>意見交換を 的確に 目的地に 発表時も</p>	<p>みなのおやりとりを 的確に伝える</p>

# グループワーク 2 の進め方

---

- ▶ 深掘りしたいまちの課題の根を探る
- ▶ 10年後のありたい姿は(誰のため、何のため)
- ▶ ①今すぐ、②2年後までにやるべきこと

<発表(3分以内)>

- ▶ どんなチーム?
- ▶ 課題設定(何が?どうなる?誰のため?)
- ▶ こんな気づき(根っこはどこにある)
- ▶ 10年後のありたい姿は?
- ▶ 対話の内容・プロセスを発表